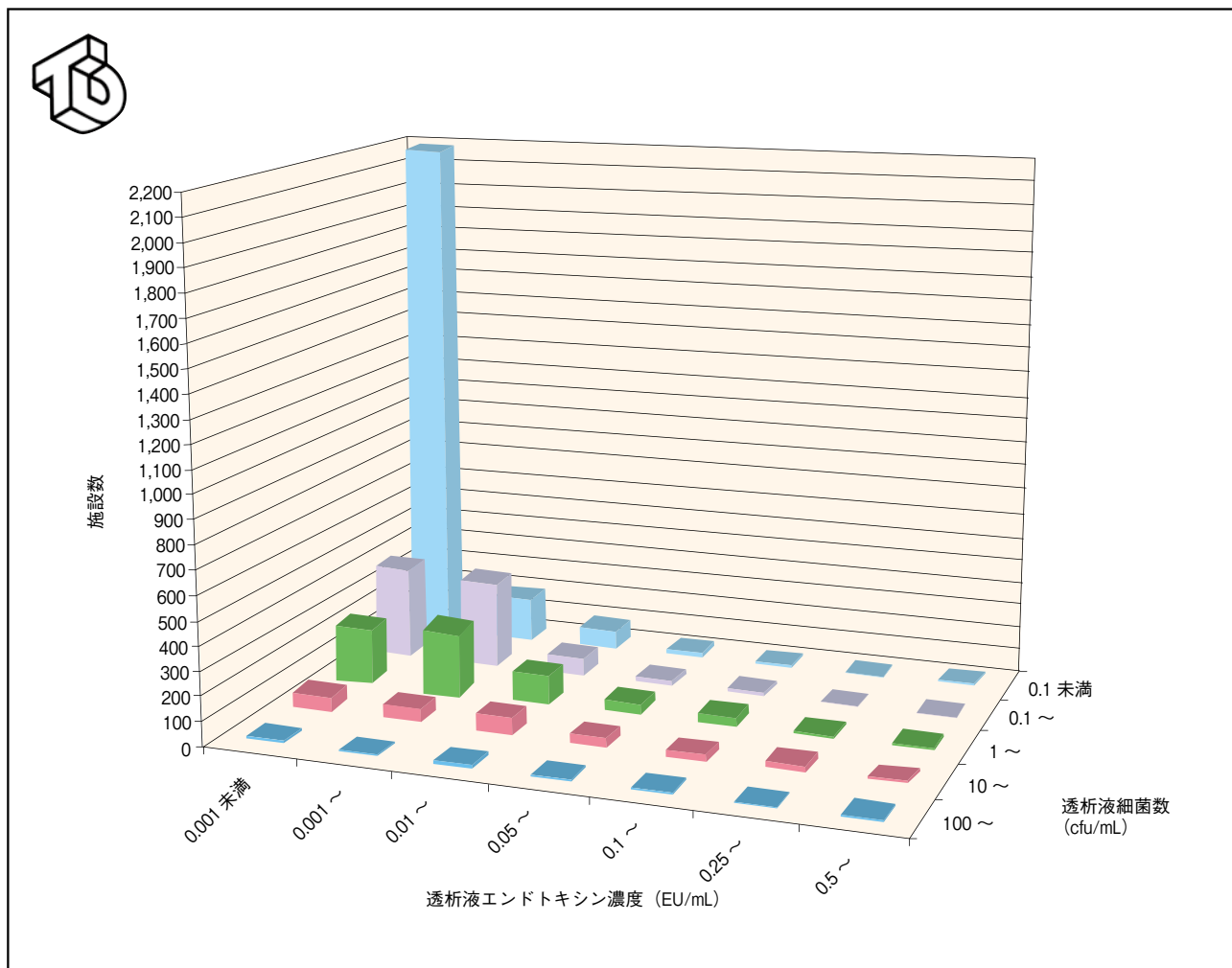


# 1) 透析液水質管理状況

## (4) 透析液エンドトキシン濃度と細菌数 (図表27)



透析液エンドトキシン濃度 (EU/mL)	透析液細菌数 (cfu/mL)					合計	不明	記載なし	総計
	0.1未満	0.1～	1～	10～	100～				
0.001未満	2,151	307	159	61	10	2,688	65	33	2,786
0.001～	163	204	170	53	6	596	29	14	639
0.01～	48	50	89	68	14	269	23	6	298
0.05～	17	12	23	25	7	84	6	1	91
0.1～	5	7	20	15	7	54	6	2	62
0.25～	1	1	5	16	3	26	5	3	34
0.5～	3	1	4	8	7	23	5	0	28
合計	2,388	582	470	246	54	3,740	139	59	3,938
不明	7	4	1	1	1	14	180	3	197
記載なし	0	0	0	0	0	0	1	65	66
総計	2,395	586	471	247	55	3,754	320	127	4,201

施設調査による集計

### 解説

日本透析医学会は透析液水質基準において、すべての透析治療に超純粋透析液の使用を推奨しており、超純粋透析液の定義は透析液エンドトキシン濃度0.001EU/mL未満（測定感度未満）かつ透析液細菌数0.1cfu/mL未満である。透析液エンドトキシン濃度と細菌数の双方に回答のあった施設は全施設4,201施設のうち3,740施設（89.0%）であった。超純粋透析液の定義を満たしている施設の割合は、全施設の51.2%であり2011年末の41.5%より大幅に増加した。